



「ひまわりプロジェクト」から 生まれた学年プロジェクト

大館市立積迦内小学校 教諭 小林 要
教諭 庄司 静香
教諭 細田 裕子

1 はじめに

地域と活動する積迦内S Pと、それを含めた全校でのひまわり・農園活動「向陽ぐんぐんプロジェクト」を始めてから、4年目となった。これまでは全校でのひまわり活動がほとんどだったが、今年度は3学年で学年独自のひまわりプロジェクトが誕生したので紹介する。

2 活動の実際

(1) 3年生「はばたきひまわりプロジェクト」の実践

向陽ぐんぐんプロジェクトで3年生が担当する畑が、当初の計画の2ヵ所から1ヵ所になってしまった。「どうしよう。困った。」「でも他にもやりたい。」という声から3年生のひまわりプロジェクトがスタートした。

- ①地域には畑となる場所がないため、校地内のどこに、なぜ植えたいのかを考え、グループを作る。
- ②ひまわりを植えるための許可をもらうため、自分たちの思い（場所・その理由）が相手にしっかり伝わるようなプレゼンテーション（以下プレゼン）をする。
- ③畑作りや種まき、お世話をする。 ④活動を全校に知ってもらうための方法を話し合う。
- ⑤朝会で全校に写真やポスターを使ってお知らせをする。
- ⑥収穫し、活動のふり返しをする。

☆成果

- ・活動の大変さを実感し地域の人たちの大変さが分かったこと、最初から最後まで自分たちだけでひまわりを育てたことから、達成感や自信をもつことができた。
- ・グループでの話し合いや作業、プレゼンテーションや全校への発表を経験したことで、コミュニケーション力が向上したり、協力の大切さを感じたりすることができた。

(2) 4年生「ひまわり音頭バージョンアップ大作戦」の実践

①取組のきっかけ

- ・「ひまわりプロジェクト」の振り返りとして、お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えるため、これまでに踊ったことがあるひまわり音頭を披露しよう。

②「ひまわり音頭バージョンアップ大作戦」～たくさんの笑顔が生まれるひまわり音頭にしよう～（役割分担をして、自分たちの力で成功させよう）

1)歌や踊りをしっかり覚える

- ・練習計画を立てて休み時間に練習した。講師は、本校職員の踊りの達人「畠山さん」

に自分たちで依頼。

2) 手作り衣装

・男子用，女子用の大中小の見本を作り，みんなに希望を取って作った。

3) 手作り大道具・小道具

・会場の長さを測って輪飾りを作ったり提灯などの飾りを作ったりした。

・踊りの邪魔にならない形や大きさを工夫し，手首や頭に付ける物や団扇を作った。

4) 発表会当日

・プログラムや会場案内図を作り，受付やマイクのセットも自分たちで行った。

・踊りの途中でお客様に声をかけて，踊りの輪に入ってもらった。

・最後に，感謝状を手渡した。

☆成果

・協力するとやり遂げられることを実感し，新しいことにも挑戦しようとするようになってきた。

・総合の時間は「楽しくて深い」「心をつなげる」など心の成長が見られた。

(3) 5年生「ひまわりにんにくプロジェクト」の実践

5年生では，昨年度の1/2成人式の記念で植えていた「にんにく」を7月に収穫した。

そこで，このにんにくとひまわり油で何か料理はできないかと考え，そこから「ひまわりにんにくプロジェクト」がスタートした。

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| ①会社を立ち上げ，役割を決める。 | ④校長先生に融資を受けるためのプレゼンを行う。 |
| ②各会社で出す商品候補を選び，婦人会の方と一緒に試食品を作る。 | ⑤会社ごとに商品を作り，販売する。 |
| ③商品決定の話し合いをする。
(婦人会の方に入ってください。) | ⑥収支計算をして活動を振り返る。 |

なかなか話し合いがまとまらなかったり，プレゼンの内容が伝わらず融資を受けられなかったりするなど，難しい場面もあったが，地域の婦人会の方に相談したり，会社のメンバーでプレゼンの内容を見直したりと，困難に出合う度に，どのようにしたらいいか，自分たちで解決方法を探り実行できるようになってきた。

☆成果

・自分たちの考えたことが具現化され，実体験を伴った自信をもつことができた。

・地域の方とふれ合うなど，「顔の見えるおつきあい」を通して，保護者以外にも地域にたくさん知っている方が増えた。また，釈迦内婦人会の前向きなパワーに触れ，すてきな大人の姿を理想像としてもつことができた。

3 おわりに

今年度は，3年生以上が独自の取組を展開することができた。この取組が「社会人基礎力」の3つの力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）に結びついてきている。特に「考え抜く力」が付いてきた。次年度からも各学年独自の工夫した取組を展開していきたい。